

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	Y I Cペット総合専門学校	
設置者名	学校法人Y I C学院	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ペット総合科	夜・通信	37 単位	6 単位	
	動物看護科	夜・通信	11 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上にて公表 WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	Y I C ペット総合専門学校	
設置者名	学校法人 Y I C 学院	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和 7 年.5.23 ～令和 10 年の うち最終のもの に関する定時票 卯木委員会の終 結の時	経営方針や教育方針に対 する意見・助言等
非常勤	株式会社 代表取締役	令和 7 年.5.23 ～令和 10 年の うち最終のもの に関する定時票 卯木委員会の終 結の時	経営方針や教育方針に対 する意見・助言等
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	Y I Cペット総合専門学校	
設置者名	学校法人Y I C学院	

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「Ⅲ 学習の手引」に記載。 1 教育課程 (学則第8条関係) (1)本校の専門課程において履修する科目、授業時間数は、教育課程(学則別表)のとおりとします。 (2)教育課程は、本校の「教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)〈P4〉」を踏まえ、編成しています。 (3)教育課程においては、必修科目、選択必須科目、選択科目を体系的に編成し、講義、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 (4)本校は単位制を採用しており、所定の単位数を修得した場合に、卒業を認定します。 (5)各授業科目の単位数は、授業の方法、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して定めています。 ・講義(座学は、90分×15コマ(22.5時間)以上の授業をもって1単位とします。実技、実習については、90分×30コマ(45時間)以上の授業をもって1単位とします。いずれも同時間の予習・復習・課題実施が前提です。 ・これ以外の授業(インターンシップ、ボランティア活動、校外学習等)の単位数は、別途定めます。 (6)各科目の詳細については、シラバスに記載しています。 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー) 本校の教育理念、教育目標や求める人材像並びに称号付与の方針を達成するために、次のような方針で科目・プログラムを提供します。 ・動物業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。 ・主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるようプログラムを提供する。 ・キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。 また、教育課程の策定に当たり、学校法人Y I C学院は、設置する各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置き、年2回以上委員会を開催し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、教科書・教材の選定に関する事項などを審議・報告する。 〈シラバスの作成と公表について〉 教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定 公表：新年度開講にあわせてHPに掲載および教育課程一覧を学生便覧に掲載して配布	
授業計画書の公表方法	ホームページ上にて公表(教育課程・シラバス) WEBアドレス：https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「学習の手引き」に記載

9 成績評価 (学則第 12 条関係)

(1) 成績評価

成績評価は、試験のほか、レポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合否、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって、総合的に評価します。なお、各科目の評価方法については、シラバスに記載しています。

(2) 成績評価基準

成績評価の基準は、以下のとおりとします。

評価点	成績	GP	成績評価内容
100～90点	秀 (S)	4.0	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている。
89～80点	優 (A)	3.0	到達目標を十分に達成している。
79～70点	良 (B)	2.0	到達目標を達成している。
69～60点	可 (C)	1.0	到達目標を最低限達成している。
59点以下	不可 (D)	0.0	到達目標を達成していない。
—	—	—	授業時数の出席率が 80%未満

10 単位認定 (学則第 12 条関係)

(1) 単位認定会議において、次の基準をみたす者について、当該科目の履修単位を認定します。

- ① 科目の単位認定には、成績評価において可 (C) 以上が必要。
- ② 授業時数の出席率が 80%未満の者については、評価点数にかかわらず、成績評価を実施しない。そのため、当該科目については再履修しなければならない。
- ③ 学費及び教材費等未納者については、評価点数にかかわらず、成績評価を行わないため、単位認定についても保留とする。ただし、納入された時点で、単位認定を行う。

(2) 当該科目が再履修となった場合は、「再履修願」(P23) を提出する必要があります。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「学習の手引き」に記載

9 成績評価 (学則第 12 条関係)

(1) 成績評価

成績評価は、試験のほか、レポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合否、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって、総合的に評価します。なお、各科目の評価方法については、シラバスに記載しています。

(2) 成績評価基準

成績評価の基準は、以下のとおりとします。

評価点	成績	GP	成績評価内容
100～90 点	秀 (S)	4.0	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている。
89～80 点	優 (A)	3.0	到達目標を十分に達成している。
79～70 点	良 (B)	2.0	到達目標を達成している。
69～60 点	可 (C)	1.0	到達目標を最低限達成している。
59 点以下	不可 (D)	0.0	到達目標を達成していない。
—	—	—	授業時数の出席率が 80%未満

(3) GPA 制度について

本校では、学生の自律的な学修の促進及び学生に対する学修指導等に活用することを目的として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。

①GPA の計算方法について

各学生の履修科目の成績評価をグレード・ポイント (GP) に変換し、GP に当該科目の単位数を乗じて、その総和を履修総単位数で除した値を GPA とします。

$$\text{GPA} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した科目の総単位数}}$$

②学期 GPA・累積 GPA について

当該学期における学修成果を示す「学期 GPA」と在学中の全期間における学修の成果を示す「累積 GPA」についても算出し、成績表に表記します。

(4) 成績保留

学費及び教材費等未納者については、評価にかかわらず、成績評価を保留し、納入された時点で、評価を行う。

10 単位認定 (学則第 12 条関係)

(1) 単位認定会議において、次の基準をみたす者について、当該科目の履修単位を認定します。

- ① 科目の単位認定には、成績評価において可 (C) 以上が必要。
- ② 授業時数の出席率が 80%未満の者については、評価点数にかかわらず、成績評価を実施しない。そのため、当該科目については再履修しなければならない。
- ③ 学費及び教材費等未納者については、評価点数にかかわらず、成績評価を行わないため、単位認定についても保留とする。ただし、納入された時点で単位認定を行う。

(2) 当該科目が再履修となった場合は、「再履修願」(P23) を提出する必要があります。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。
WEB アドレス : <https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に専門士の称号を付与します。

- ・動物業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること
- ・自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること
- ・必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること
- ・豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること

11 卒業及び称号（学則第5章関係）

(1) 卒業の認定は、本校の「称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）〈P4〉」を踏まえ、学生が一定の能力を身に付けた場合に行うものです。

(2) 卒業判定会議において、教育課程に定める所定の単位を全て修得し、課程を修了したと判定した者に対しては、卒業証書を授与します。併せて、専門士（商業実務専門課程）の称号を授与します。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。
WEB アドレス： <https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/>
※学生便覧 P.4「3つのポリシー」
 «称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）»
P.8「学習の手引き」 1 教育課程（学則第 8 条関係）
別表 1 教育課程

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	Y I Cペット総合専門学校
設置者名	学校法人Y I C学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報公開： https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	情報公開： https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/
財産目録	情報公開： https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/
事業報告書	情報公開： https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	情報公開： https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	ペット総合科		○		-	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
	講義			演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	67 単位時間 / 単位	65 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	74 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	
			139 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
160 人		156 人	0 人	6 人		10 人		16

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「Ⅲ 学習の手引」に記載。 1 教育課程（学則第8条関係） (1)本校の専門課程において履修する科目、授業時間数は、教育課程（学則別表）のとおりとします。 (2)教育課程は、本校の「教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）〈P4〉」を踏まえ、編成しています。 (3)教育課程においては、必修科目、選択必須科目、選択科目を体系的に編成し、講義、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 (4)本校は単位制を採用しており、所定の単位数を修得した場合に、卒業を認定します。 (5)各授業科目の単位数は、授業の方法、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して定めています。 ・講義（座学は、90分×15コマ（22.5時間）以上の授業をもって1単位とします。実技、実習については、90分×30コマ（45時間）以上の授業をもって1単位とします。いずれも同時間の予習・復習・課題実施が前提です。 ・これ以外の授業（インターンシップ、ボランティア活動、校外学習等）の単位数は、別途定めます。 (6)各科目の詳細については、シラバスに記載しています。 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー） 本校の教育理念、教育目標や求める人材像並びに称号付与の方針を達成するために、次のような方針で科目・プログラムを提供します。 ・動物業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシ

ブを提供する。

- ・主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるようプログラムを提供する。
- ・キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。

また、教育課程の策定に当たり、学校法人 Y I C 学院は、設置する各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置き、年 2 回以上委員会を開催し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、教科書・教材の選定に関する事項などを審議・報告する。

〈シラバスの作成と公表について〉

教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2 月末に決定

公表：新年度開講にあわせて HP に掲載および教育課程一覧を学生便覧に掲載して配布

成績評価の基準・方法

（概要）

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「学習の手引き」に記載

9 成績評価（学則第 12 条関係）

(1) 成績評価

成績評価は、試験のほか、レポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合否、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって、総合的に評価します。なお、各科目の評価方法については、シラバスに記載しています。

(2) 成績評価基準

成績評価の基準は、以下のとおりとします。

評価点	成績	GP	成績評価内容
100～90 点	秀 (S)	4.0	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている。
89～80 点	優 (A)	3.0	到達目標を十分に達成している。
79～70 点	良 (B)	2.0	到達目標を達成している。
69～60 点	可 (C)	1.0	到達目標を最低限達成している。
59 点以下	不可 (D)	0.0	到達目標を達成していない。
—	—	—	授業時数の出席率が 80%未満

10 単位認定（学則第 12 条関係）

(1) 単位認定会議において、次の基準をみたす者について、当該科目の履修単位を認定します。

- ① 科目の単位認定には、成績評価において可 (C) 以上が必要。
- ② 授業時数の出席率が 80%未満の者については、評価点数にかかわらず、成績評価を実施しない。そのため、当該科目については再履修しなければならない。
- ③ 学費及び教材費等未納者については、評価点数にかかわらず、成績評価を行わないため、単位認定についても保留とする。ただし、納入された時点で、単位認定を行う。

(2) 当該科目が再履修となった場合は、「再履修願」(P23)を提出する必要があります。

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートの年 2 回の実施や適宜個人面談等を実施している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に専門士の称号を付与します。

- ・動物業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること
- ・自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること
- ・必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること
- ・豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること

ペット総合科 卒業要件

卒業の要件：必修科目 1,140 時間（38 単位） 及び選択必修科目 870 時間（29 単位）計 2,010 時間（67 単位）以上の履修
学修支援等
（概要） 学費支援：社会人キャリア応援制度、入試出願区分特典による減免制度 2024 年度学生募集要項参考 WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/disclosure/

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77 人 (100%)	1 人 (1%)	72 人 (94%)	4 人 (5%)
（主な就職、業界等） 株式会社ひびペットフレンドリー,株式会社アヤハディオ,有限会社 Coo&RIKU(クーアンドリク),エクシード株式会社(PetLifeHome つむぎ),イオンペット株式会社,株式会社ビジネスストーリークリエイイト(WANSTA),株式会社ペットコムワンにゃんランド,合同会社るびこむ,株式会社 AHB,Dog Cafe MAPLE(ドッグカフェメイプル),ワンダフルだ 11(ワンダフルダウンワン),有限会社芝動物病院,株式会社ケー・エー・シー,モーリス動物病院,株式会社ノアズアーク,愛愛送社株式会社,株式会社ジョージジャパン,TALL TREE,Studio Inucocoro,dog salon いろは,就職希望なし,株式会社丸エス,どうぶつ病院京都株式会社(動物病院京都),野田山動物病院 DOG SALON OASIS,有限会社キャドック(舞鶴動物医療センター),株式会社 Lovely,株式会社室田(キャニオンファーム土山),松井山手動物病院,あい動物病院,うなー,株式会社まろい(ペットサロンくんくん)ホテルトーイン,DogsalonCOCO,ワンラビオンタウン彦根店,サロン&カフェ メディマル,犬の総合施設 BLISS total dog salon,株式会社アミーゴ,株式会社エイジェック,ベル動物病院,吉永動物病院,dogsalon laulea(ラウレア),Dog Salon Twinkle,株式会社ダイワペット,DOG アイドル,COO&RIKU 他			
（就職指導内容） キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナー、個別面談、個別面接指導などの就職サポートを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 〈取得目標資格〉一般社団法人ジャパンケネルクラブ公認トリマー C 級ライセンス、ジャパンケネルクラブ公認ハンドラー C 級ライセンス、一般社団法人全国動物専門学校協会 サロントリマー検定 3～1 級、ジャパンケネルクラブ愛犬飼育管理士、愛玩動物飼養管理士 1 級・2 級、日本損害保険協会 損保代理店試験、一般社団法人日本ペットサービス研究会 アニマルヘルパー 〈資格実績〉 サロントリマー検定 1 級：受験人数 64 人/合格人数 61 名(95%) ジャパンケネルクラブ公認トリマー C 級ライセンス：受験人数 23 人/合格人数 19 名(82%) ジャパンケネルクラブ公認ハンドラー C 級ライセンス：受験人数 9 人/合格人数 9 名(100%) 愛玩動物飼養管理士 1 級：受験人数 8 人/合格人数 7(87%) 愛玩動物飼養管理士 2 級：受験人数 87 人/合格人数 69 名(79%) サービス接遇実務検定試験 3 級：受験人数 74 人/合格人数 58 名(78%)			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

162 人	11 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 学力不振、学生生活不適応・修学意欲低下（学生生活への不満等を含む）および心神耗弱・疾患等による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。hyper-QU アンケートの実施・分析による学生面談の実施。授業アンケート調査の分析から修学状況の確認、スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	動物看護科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	91 単位時間／単位	56 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	37 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			93 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
192 人		172 人	0 人	8 人	10 人	18	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「Ⅲ 学習の手引」に記載。 1 教育課程（学則第 8 条関係） (1)本校の専門課程において履修する科目、授業時間数は、教育課程（学則別表）のとおりとします。 (2)教育課程は、本校の「教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）〈P4〉」を踏まえ、編成しています。 (3)教育課程においては、必修科目、選択必須科目、選択科目を体系的に編成し、講義、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 (4)本校は単位制を採用しており、所定の単位数を修得した場合に、卒業を認定します。 (5)各授業科目の単位数は、授業の方法、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して定めています。 ・講義（座学は、90分×15コマ（22.5時間）以上の授業をもって1単位とします。実技、実習については、90分×30コマ(45時間)以上の授業をもって1単位とします。いずれも同時間の予習・復習・課題実施が前提です。 ・これ以外の授業（インターンシップ、ボランティア活動、校外学習等）の単位数は、別途定めます。 (6)各科目の詳細については、シラバスに記載しています。 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー） 本校の教育理念、教育目標や求める人材像並びに称号付与の方針を達成するために、次のような方針で科目・プログラムを提供します。 ・動物業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。 ・主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるようなプログラムを提供する。 ・キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。 また、教育課程の策定に当たり、学校法人 Y I C 学院は、設置する各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置き、年 2 回以上委員会を開催し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、教科書・教材の選定に関する事項などを審議・報告する。 〈シラバスの作成と公表について〉 教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定 公表：新年度開講にあわせて HP に掲載および教育課程一覧を学生便覧に掲載して配布	
成績評価の基準・方法	

(概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の「学習の手引き」に記載

9 成績評価 (学則第 12 条関係)

(1) 成績評価

成績評価は、試験のほか、レポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合否、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって、総合的に評価します。なお、各科目の評価方法については、シラバスに記載しています。

(2) 成績評価基準

成績評価の基準は、以下のとおりとします。

評価点	成績	GP	成績評価内容
100～90点	秀 (S)	4.0	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている。
89～80点	優 (A)	3.0	到達目標を十分に達成している。
79～70点	良 (B)	2.0	到達目標を達成している。
69～60点	可 (C)	1.0	到達目標を最低限達成している。
59点以下	不可 (D)	0.0	到達目標を達成していない。
—	—	—	授業時数の出席率が 80%未満

10 単位認定 (学則第 12 条関係)

(1) 単位認定会議において、次の基準をみたとす者について、当該科目の履修単位を認定します。

- ① 科目の単位認定には、成績評価において可 (C) 以上が必要。
- ② 授業時数の出席率が 80%未満の者については、評価点数にかかわらず、成績評価を実施しない。
そのため、当該科目については再履修しなければならない。
- ③ 学費及び教材費等未納者については、評価点数にかかわらず、成績評価を行わないため、単位認定についても保留とする。ただし、納入された時点で、単位認定を行う。

(2) 当該科目が再履修となった場合は、「再履修願」(P23)を提出する必要があります。

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートの実施や適宜個人面談等を実施している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

称号授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に専門士の称号を付与します。

- ・動物業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること
- ・自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること
- ・必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること
- ・豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること

動物看護科 卒業要件

- ・科目履修 (単位) 認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60 点以上を基本とするが、科目により実技試験、あるいはレポートに換える場合もある
- ・卒業の要件: 必修科目 91 単位 (2,670 時間) 以上の修得

学修支援等

(概要)

学費支援: 社会人キャリア応援制度、入試出願区分特典による減免制度

2023 年度学生募集要項参考 WEB アドレス: <https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/disclosure/>

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59 人 (100%)	0 人 (0%)	56 人 (95%)	3 人 (5%)
皇子山動物病院, 有限会社アツキ動物医療センター, 乙訓どうぶつ病院, 卒業延期, みかみ動物病院, アーク動物病院, 株式会社ボンド ボンド動物病院, タッキー動物病院, 就職希望なし, 有限会社ケー・エー・シー 草津犬猫病院, 野田山動物病院 DOG SALON OASIS, 山科みやこ動物病院, 株式会社マイトリー(アイ・ペットクリニック), 柏原動物クリニック, オオジ動物病院, カイ動物病院, くすの木動物病院, 比良動物病院, かもがわ動物医療センター, 有限会社芝動物病院, 株式会社 UAH (右京動物病院), さとう動物病院, ダクダク動物病院 京都病院, どうぶつ病院京都株式会社(動物病院京都), かわぐち動物病院, かく動物病院, ヨネダ動物病院, 株式会社秋山恵蔵どうぶつクリニック, 株式会社ケー・エー・シー, いろ動物病院, 株式会社ひごペットフレンドリー, 右京動物病院 OIKE, いうち動物病院, よこた動物診療室, 株式会社 TVvet(イース動物病院), 京都中央動物病院, みどり動物病院, 丸太町通り動物病院, たねい動物病院, 廣岡動物病院, フィオレ動物病院, 城東みなみ動物病院, マエカワ動物病院, 西向日動物病院, 岸上獣医科病院, 有限会社 D.SQUARE ペットショップ HUG, 宇治動物病院, 株式会社ひさだ動物病院, 株式会社シアンサージュ(南彦根どうぶつ病院), なぎ犬猫病院, 守山しっぽ動物病院, 京都御所動物病院, 合同会社静岡県西部夜間救急動物病院			
(就職指導内容) キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナー、個別面談、個別面接指導などの就職サポートを行っている			
(主な学修成果(資格・検定等)) 〈取得目標資格〉 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士 1 級・2 級、日本損害保険協会 損保代理店試験、一般社団法人日本ペットサービス研究会 アニマルヘルパー講座 ベーシックコース、 〈資格実績〉 愛玩動物看護師：受験人数 58 人/合格人数 57 人 (98%) 愛玩動物飼養管理士 2 級：受験人数 70 人/合格人数 55 人 (78%) 愛玩動物飼養管理士 1 級：受験人数 56 人/合格人数 50 人 (89%)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
184 人	7 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適応・修学意欲低下(学生生活への不満等を含む) および心神耗弱・疾患等による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。hyper-QU アンケートの実施・分析による学生面談の実施。授業アンケート調査の分析から修学状況の確認、スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ペット総合科	160,000 円	850,000 円	590,000 円	その他の内訳 教材補助活動費（預り金初年度）： ¥380,000、施設維持費：¥210,000 また、休学した場合は休学中在籍料： ¥10,000
動物看護科	160,000 円	870,000 円	510,000 円	その他の内訳 教材補助活動費（預り金初年度）： ¥300,000、施設維持費：¥210,000 また、休学した場合は休学中在籍料： ¥10,000
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 2024 年度自己点検・自己評価 WEB アドレス WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/disclosure/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
〈目的〉 ○学校評価を通じた組織的・継続的な教育活動等の改善。 ○生徒・卒業生、関係業界等の地域のステークホルダーとの連携協力による特色ある専修学校づくり推進。 学校法人 Y I C 学院は、設置する専門学校各校のより実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、各校の自己点検評価の結果を評価することを目的とした学校関係者評価委員会を設置。学校関係者評価委員会は、各校で行われた教育活動及び学校運営の状況についての自己点検評価の結果を踏まえた学校評価を行い、その結果を校長に報告する。 〈自己点検評価項目〉 ・教育理念、目標 ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の受入れ募集 ・財務 ・法令等の遵守 ・社会貢献、地域貢献 ・国際交流 ※学校関係者評価委員会を構成する委員は3名以上とし、学校法人 Y I C 学院各校の教職員以外の者で次に掲げる者のうちから、各校校長もしくは担当理事が委嘱する。 （1）保護者 （2）学校法人 Y I C 学院各校卒業生

(3) 地域住民 (4) 地元企業関係者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 滋賀県獣医師会	2025年4月1日～27年3月31日	その他教育に関する有識者
公益社団法人 京都市獣医師会	2025年4月1日～27年3月31日	その他教育に関する有識者
一般社団法人ジャパンケネルクラブ	2025年4月1日～27年3月31日	その他教育に関する有識者
有限会社ペットショップモリ	2025年4月1日～27年3月31日	地元企業関係者
株式会社ひごペットフレンドリー	2025年4月1日～27年3月31日	企業関係者
株式会社 Lovely	2025年4月1日～27年3月31日	地元企業関係者
株式会社 桂ペットサロン	2025年4月1日～27年3月31日	地元企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2024年度学校関係者評価委員会報告 WEB アドレス https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ WEB アドレス https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/ 情報公開ページ WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-technical.ac.jp/disclosure/
--